



ぽっかぽか

1がっ



新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

先月は、こども会という大きな行事を通して、いろいろな成長をみることができました。特に再演「かにむかし」では、お休みした子達のためにもう一度劇をやろう！という優しい心と新しい役にチャレンジできることを楽しむ姿、そして他の役の台詞を憶えていることに驚かされました。また、お休みした子たちも別の役をやりたい！と「ラストかにむかし」でもう一度劇ごっこをした時、やっと満足したように感じました。大好きな事は、満足するまで「繰り返す」をクラス全体で体現してくれました。「かにむかし」の劇を通して、目標を持ち仲間と協力して一つの劇にし、表現する楽しさを存分に味わったと思います。

2026 年が始まり、きりん組での生活も残り 2 か月となりました。年長に向け、改めてクラス目標を意識して活動をしていきます。4月の保護者会でお伝えしたクラス目標

「子ども達が、たくさんの愛（関心）を感じ、自分を大切にできる人に。そして、その愛（関心）を友達や周りに向けられるように。」

今回は、クラス目標に対して子ども達の様子を書かせて頂きます。

「どうする？」を決められるようになった

「どんな気持ち？」と、気持ちを「言語化」することを繰り返し行ってきました。友達と言い合いになる事や、やってほしいことがある時に「自分の気持ち」を上手に伝えられるようになってきました。

「気持ちの言語化」ができるようになったことで、子ども達同士で意思疎通ができるようになり「相手が自分の気持ちを聴いてくれるから、自分も相手の気持ちを聴くことができる。」ようになりました。例えば、積み木コーナーにある人形が転がっていて、拾って遊んでいたときに「私が使っていた！」と言い合いになった時、互いに気持ちを伝え合い「どうする？」と声を掛けると自分たちで話し合っ、「一緒に使う」「順番で使う」「じゃんけん」など互いに納得した上で決められるようになりました。

「どうしたの？」と寄り添う姿

友達同士で言い合いになっていたり、泣いている子がいると「どうしたの？」と声を掛けてくれる子が出てきました。友達の話しを聞いて「悲しいよね」と共感したり、「それは、良くないよ！」と注意や相手の意図を理解できない子に説明してあげたりと仲裁をしてくれます。大人はそれを見守って、寄り添ってくれた子に話を聞いたり、寄り添ってもらえた子に気持ちを聞いたりと役割が変わってきました。子ども同士の対等な関係の中で、愛（関心）をしっかり友達に向けられるようになってきています。人間関係の学びは、人と関わる事でしか育ちません。年長に向け、「自分良し、相手良し、世間（周り）良し」の「三方よし」が意識できるように、人と関わりながら考える機会を増やしていきたいと考えています。

今後の予定



1月9日（金）劇団かぜのこ 公演

2月4日（水）お茶の稽古招待（白い靴下の用意をお願いいたします。詳細は後日お知らせ）

2月28日（土）保護者会

3月9日（月）進級（らいおん組で過ごします。）